

王寺町難聴児補聴器購入費助成金交付要綱

(目的)

第1条 この要綱は、身体障害者手帳の交付の対象とならない軽度・中等度の難聴児の補聴器購入費用の一部を助成することにより、健全な発達を支援し、もって福祉の増進に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この要綱において、「補聴器購入費」とは、別表に定める機種種の補聴器を新たに購入し、又は更新する経費をいう。ただし、当該助成金により購入した補聴器を耐用年数経過後に更新する場合は、別表に定める耐用年数を経過した場合に限る。

(助成対象)

第3条 本事業における補聴器購入費の助成を受けることができるのは、次の各号に掲げる要件を全て満たす18歳未満の難聴児（以下「助成対象児」という。）とする。

- (1) 町内に住所を有すること。
- (2) 両耳の聴力レベルが30デシベル以上70デシベル未満で、身体障害者手帳の交付の対象とならないものであること。
- (3) 補聴器の装用により、言語の習得等に一定の効果が期待できると医師が判断するものであること。

2 前項に規定する助成対象児が、身体障害者手帳の交付対象となる可能性のある場合には、あらかじめ身体障害者手帳の交付手続を行うものとする。

(対象除外)

第4条 助成対象児又は助成対象児の属する世帯の他の世帯員の市町村民税所得割額の最多市町村民税所得割納税者の課税額が46万円以上の場合は、助成の対象外とする。

(対象補聴器)

第5条 助成の対象となる補聴器の種類、1台当たりの基準額（以下「基準額」という。）及び耐用年数は、別表のとおりとする。

(助成金の算定基礎)

第6条 この助成金の算定基礎となる額は、補聴器購入費として町長が必要と認める額と基準額とを比較して少ない方の額とする。

2 補聴器は、装用効果の高い側の耳に片側装用を原則とし、教育・生活上等真に必要と医師が認めた場合は両耳に装用することができるものとし、その場合の助成金の算定基礎となる額は、左右それぞれの耳について補聴器購入費として町長が必要と認める額と基準額とを比較して少ない方の額とする。

(助成金の交付額)

第7条 助成金の交付額は、前条に規定する額の3分の2（1,000円未満切捨て）とする。

(助成の申請)

第8条 助成金の交付を希望する助成対象児の保護者（以下「申請者」という。）は、王寺町難聴児補聴器購入費助成金交付申請書（様式第1号。以下「申請書」という。）に以下に掲げる書類を添えて、町長に申請するものとする。

- (1) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）第59条第1項に規定する指定自立支援医療機関又は知事が指定した医療機関の医師が、助成対象児の聴力検査を実施し、交付した王寺町難聴児補聴器購入費助成金交付意見書（A B R・A S S R検査用）（様式第2-1号）又は王寺町難聴児補聴器購入費助成金交付意見書（オーディオメータ検査用）（様式第2-2号。以下これらを「意見書」という。）
- (2) 前号の意見書に基づき、補聴器販売業者が作成した見積書
- (3) 身体障害者手帳の交付の対象となる可能性のある助成対象児については、第3条第2項の手続による身体障害者手帳交付に係る却下決定通知書（写）
- (4) 助成対象児の属する世帯全員の所得証明書
- (5) 前各号に掲げるもののほか、町長が必要と認める書類

(所得審査等)

第9条 町長は、調査書（様式第3号）を作成するとともに、助成対象児の属する世帯全員の所得状況を調査し、第4条に規定する助成対象外に該当しないことを確認するものとする。

(交付決定)

第10条 町長は、第8条の規定による交付申請の内容を審査し、助成金の交付又は不交付を決定し、王寺町難聴児補聴器購入費助成金交付（不交付）決定通知書（様式第4号。以下「交付決定通知書」という。）により申請者に通知するものとする。

(決定の取消し)

第11条 町長は、次の各号のいずれかに該当するときは、助成の決定を取り消すことができる。

- (1) 虚偽又は不正の手段により補聴器購入費助成金の交付を受けたとき。
- (2) 補聴器を助成目的に反して使用し、譲渡し、貸与し、又は担保に供したとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、補聴器の助成が不相当と町長が認めるとき。

(補聴器の購入)

第12条 交付決定者（第10条の規定による助成金の交付決定を受けた申請者をいう。以下同じ。）は、助成金交付決定後、速やかに補聴器販売業者において補聴器を購入するものとする。

(代理受領)

第13条 町長は、交付決定者に支給する額の範囲内において、交付決定者の代わりに補聴器販売業者に支払うことができる。

2 代理受領による補聴器購入費の支払を行う場合は、町長は、交付決定者に対し交付決定通知書のほか王寺町難聴児補聴器購入費助成事業支給券(様式第5号。以下「支給券」という。)を発行するものとし、交付決定者は、速やかに補聴器販売業者において、支給券を引き渡すとともに自己負担額を支払い、補聴器を購入するものとする。この場合において、補聴器販売業者は、請求書及び支給券を添えて、町長に提出するものとする。

3 町長は、補聴器販売業者から請求書及び支給券の提出があった場合は、提出された請求内容を審査の上、原則として、請求があったその都度、補聴器販売業者に支払うものとする。

(関係帳簿の作成)

第14条 町長は、補聴器購入費助成金の交付に当たり、難聴児補聴器購入費助成台帳(様式第6号)を備え、必要な事項を記載するものとする。

(委任)

第15条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

別表 略

様式 略

別表（第2条、第5条関係）

種目	名称	1台当たりの基準価格（円）	基準価格に含まれるもの	耐用年数
補聴器	軽度・中等度難聴用ポケット型	34,200	補聴器本体（電池を含む。） ※イヤーマールドが必要な場合は、基準価格に9,000円を加算	5年
	軽度・中等度難聴用耳かけ型	43,900		
	高度難聴用ポケット型	34,200		
	高度難聴用耳かけ型	43,900		
	重度難聴用ポケット型	55,800		
	重度難聴用耳かけ型	67,300		
	耳あな型（レディメイド）	87,000		
	耳あな型（オーダーメイド）	137,000	補聴器本体（電池を含む。）	
	骨導式ポケット型	70,100	① 補聴器本体（電池を含む。） ② 骨導レシーバー ③ ヘッドバンド	
	骨導式眼鏡型	120,000	補聴器本体（電池を含む。） ※平面レンズを必要とする場合は、基準価格に1枚につき3,600円を加算	

（注）FM型受信機、オーディオチューナー又はFM型ワイヤレスマイクを必要とする場合は、次に掲げる額の範囲内で必要な額を加算することができる。

名称	1台当たりの基準価格（円）
FM型受信機	80,000
オーディオチューナー	5,000
FM型ワイヤレスマイク（充電電池を含む。）	98,000

（注）業者が材料仕入時に負担した消費税相当分を考慮し、別表の価格の100分の106に相当する額を基準の上限とする。